

カウンセリングのお作法 第42回

CON

Counseling Office Nakajima

カウンセリングオフィス中島 中島(水鳥)弘美

～面接継続時のルールと家族の行動～



今回は、クライアントさんご家族がカウンセリングに来られて、面接継続を希望されたとき、今後の『約束事、注意点、守っていただきたい点』についてカウンセラーがどのように説明をし、対応しているのかについて話します。

来所日時と来所メンバー

大切なのは、二回目以降、面接予約日時を守って、事前に話し合った家族メンバーで来所してもらうことです。ただし、さまざまな事情から面接を変更やキャンセルする必要があることも考えられるので、そのときは、どうするかについて事前に伝えます。

キャンセルのルール

子どもや家族の急病などで、カウンセリングの予約時間に来所することができない場合は、可能な限り前日までに連絡をして予約の取り直しをお願いします。当日のキャンセルの場合は、キャンセル料が発生することも前もって了解をとります。

全員そろって来所することができなくなった場合は、事情をうかがいます。

来所できる人だけで来ることを了承するのではなく、事前に確認をしたメンバーがそろって、来所してもらうことを改めて確認します。基本的にルールの変更はありません。

あいまいさ

ほとんどのご家族が二回目以降の約束内容に基づいて継続面接がすすめられますが、ときにルールに対してあいまいな行動がみられることがあります。

例えば、当日、父親がほかの家族よりも 30 分遅れて面接に来所するなどです。もちろん、いろいろな突発事項はありますので、全員そろわないと面接しませんなどということはありません。が、次回以降は、予約時間に来てもらうことを念押し、全員そろって面接をスタートすることを重視している旨を伝えます。

一方で、大事なこともあります。

それは、カウンセラーにとって、家族のうちの誰かがいないときの家族の様子を把握することです。

父親がいないときの母親の様子、子どもの様子、また、父親が参加する前後の違い、父親の参加後の様子、そして、誰かがいないとき、物事がどのように決まっていくのか、そのプロセスをつかむなど、貴重な場面であるともいえます。

「ちょっとおききたいのですが」の電話

また、面接が終了し、次の面接日までの期間に、「ちょっとおききたいのですが」とか「次の面接までに話しておきたいことがあるのですが」などと、家族のうちのひとりが、突然、連絡をしてくることも珍しくありません。

そのような場合は、「電話では、お話をきくことができないので、もしも気になるようであれば、面接間隔を早めて、取り直してください」と伝えます。

面接室以外のところで、家族のうちのだれかとカウンセラーが情報のやりとりをするような接点は、作りません。

このようにして、家族面接をすすめるための基盤を固めていきます。

ルールを伝えるタイミング

すべてのルールを、初回面接で説明することはできないので、必ず守ってもらいたいことやカウンセラーが引き受けられないこと、できないことは、その都度、伝えます。

面接当日に、交通渋滞のため少し遅れるかもしれないと前もって、連絡をいただく場合もあれば、大幅に遅れて来られたりすることもあります。あらかじめ面接の終了時刻は決まっているため、90分の面接時間を延長することはないことも伝えます。

もちろん、予約時間を守ってご家族がそろって来所されるご家族がほとんどです。

中には、

「予約時刻の何分前に到着すればよいですか、5分前ですか、10分前ですか、それともぴったり来た方がよいですか」

と、家族のうちのどなたかが、厳密に確認されることもあります。この様子から几帳面な行動ととらえることもできます。

カウンセラーとの約束項目に対する行動の様子をみていると、それらが、『日ごろの家族の行動のパターン』として、理解できるのです。そして、それらが現れる場面のひとつが、初回面接と二回目の面接の間にかけての家族の行動と考えています。

家族の行動の特徴

家族のいつもの行動と、いつもとは異なる変化が現れやすい、注目すべきポイントがあります。

まず、家族のうちの誰かが何かの課題を持っていて家族カウンセリングに来られる前、つまりカウンセリングを受ける決心、家族での意思統一などが影響して家族に変化が見られることがあります。予約をして面接に向かうことは、ある意味、一大イベントです。

その次に注目すべきは、初回面接から二回目の面接までに起こるできごとです。

特に二回目の面接までに生活の中で見られる家族の行動は、その後にも影響を及ぼしやすいと考えられています。その理由のひとつが、それまで膠着していた状態から何かが始まる新たなステージへの移行ということになります。

来所日時、来所メンバーに対する家族の対応や取り組みは、二回目面接がスタートするまでに現れていて、家族それぞれの物語がみられます。